

## (1) ②様式第1号—2 (計画書)

※A4判、2頁を超えない(両面印刷1枚)、縦方向、横書き、11ポイントで作成してください。

※「1案件概要」は機構ウェブサイト (<http://www.nits.go.jp/education/nitscafe/>) で公開します。

### 教職大学院と教育委員会の連携・協働支援事業 (NITS カフェ) (第1回申請)

#### 1 案件概要

- (1) セミナー名:【NITS カフェ in 岡山】  
主タイトル:教育現場に地域の力を!  
副タイトル:教員と院生、地域福祉のつながり創出
- (2) 開催日時:平成30年8月28日(火)
- (3) 開催場所  
施設の名称:岡山市立後楽館中学高校  
住所:〒700-0807 岡山県岡山市北区南方1丁目3-15
- (4) 参加予定人数と参加者の属性  
後楽館中学、高校の教員 30名  
岡山大学教職大学院生・学部生 10名  
地域(社会福祉協議会など) 10名
- (5) 登壇者(講演者、発表者、パネラー、ファシリテーター等)  
ファシリテーター:特定非営利活動法人だっぴ代表理事(柏原拓史)  
事務局長(森分志学)
- (6) テーマ ① 生徒の生きる力を育むキャリア教育とは? ② どんな教育者になりたいか  
(達成目標)
  - ・教員の生徒理解と支援に関する外部知見とのつながりを持つこと。
  - ・また、教職大学院生のキャリア感を深めること。
  - ・教員研修を教職大学院とNPO法人、社会福祉法人の連携で行うこと。
- (7) テーマの詳細などの企画概要
  - ・現役教員が地域の社会福祉人材と繋がり、その生徒への教育力や指導力、理解力を高めることを狙いにワークショップを実施する。
  - ・ワークショップは、地域における様々なステークホルダーのつながりを創出しているNPO法人だっぴの手法を活用して行う。
  - ・その際、ワークショップの進行役としてグループに教職大学院生が入り、院生のキャリア感を深めることにもつなげる。
- (8) 進行プログラムの概要  
【時間】2.5時間  
【内容】グループに分かれたディスカッションワーク
  - ① 教員3人に対し、院生1名、社会福祉関係者1人の5人グループを人数分作り、テーマに沿ったディスカッションを行う。
  - ② ディスカッションでは、参加者個々のこれまでの経験を踏まえた価値観を語る内容とすることで、お互いの表面的な価値観だけでなく、その人の過去の経験や考え方も含めて理解できるようにする。
  - ③ グループは、学年団を超えて出来るだけ年齢の異なる教員が混ざる形で構成する。
  - ④ グループには、岡山大学教職大学院の教員を目指す院生がグループの進行役として参加する(院生は事前にNPO法人だっぴのファシリテーション研修を受講する)。
  - ⑤ ワorkshopではNPO法人だっぴの担当講師が全体ファシリテーターとしてプログラムを進行する。
  - ⑥ 最後に参加者の感想と今後取り組む行動テーマを共有する。
- (3) 研修プログラムの評価・改善
  - 参加者に研修前後のアンケートを取ることで研修効果を把握する。
  - また、本企画は岡山県教育委員会と連携し県内に広げることを想定しており、今回の結果は県教育委員会と共有、協議して今後の展開に活用する。